

カップ

友人からある相談を受けました。「友達が10月末頃、飲みに行って、そこで突き飛ばされ、結果として腕が麻痺してしまった。相手は逃げてしまったが警察の捜査の結果、釜石市のラグビーチーム、釜石シーウェイブスの選手だった。弁護士をたて賠償請求等するも調停の場に相手も代理人も来なかった」ということです。何より、この件が一切報道されないのがおかしいし、取材等も来ないので小川君の知り合いのマスコミの人に話しをして欲しいと言う。それで新聞、民放2社とNHKの記者に話しをしてみました。こういう事件が起こると警察はマスコミに情報をFAX等で流すそうですが、この件に関しては警察からの情報提供は一切無かったと言っておりました。例え酒の席での事だとしても相手に怪我を負わせて逃げるという行為は許される訳がありません。しかも調停の場にも現れず、無視するという態度。自分は悪くないと思うのは勝手だが怪我をさせたという事実は変わらない。ラグビー関係者は調子に乗っていると感じてはいたが、色々と分かってきたら本当にムカつく。特にムカついたのはシーウェイブスのサポーターの知人達が既にこの件を知っていて、彼らに「話を聞いていたら余計な事は言うな！」と言われた事。これでは大相撲と同じです。

ラグビーワールドカップの開催が迫り、‘脅し’同然に、民間業者に早く工事をやれと言う市役所職員。「夜間も、残業も、休日出勤もして死んでも間に合わせろ」とか、「計画工程より少しでも遅れたらウチらのクビが飛ぶ。我々は市長から死んでも間に合わせろと言われている。遅れたらアナタ達業者は責任取れるのか？」

市の職員は一体何を考えているのでしょうか？ワールドカップの為のスタジアム建設や東日本大震災での被害復旧、防災対策事業等々、莫大な額の国民の税金を使っているという自覚があるのか。釜石市の面子や建前の為に工事をしている訳ではない筈なのですがね。大体、地域住民の安全確保の話は一言も無く、全てワールドカップでの来客の安全確保が最優先という事もおかしい話だし、「復興が完全に終わったからワールドカップを開催するという事なんだぞ」という言い方にも疑問を感じた次第。ワールドカップの誘致、開催は一部のラグビー関係者と岩手県、釜石市、それとオコボレを期待している大槌町が乗り気になっているだけで普通の地域住民は一切興味無し。しかも釜石で試合をするのは2、3試合だけ。それも日本ではなく、何処か知らない国の試合。その為に数十億円もの予算を使ってスタジアムや近隣の設備を新設したとして終了

後、その施設等をどう維持していくつもりなのか？誘致、開催だけアピールして後の事になると曖昧な事しか言わない行政。東京オリンピックと構図は同じ、呆れてしまいます。

確かに釜石市は新日鉄釜石製鉄所が健在だった30数年前、社会人ラグビーでV10を達成して、ラグビーの街として盛り上がってはいました。しかし、その後を引き継いだ釜石シーウェイブスは全然振るわない。それでも釜石はラグビー、ラグビーと過去の栄光にひたり続けている。それにシーウェイブスの選手が暴行事件を起したのに会見すら開かず、ひた隠しにしているのも気にいらぬ。こんな事で復興をアピール？笑わせるな！と言いたいです。

岩手県大槌町

小川 孝幸